

食べる力を保つために ～お口の体操で嚥下をサポート～

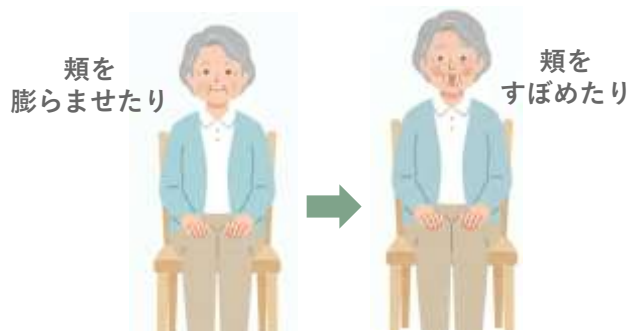
食べることは、毎日の楽しみのひとつです。
お口の体操は食べるときに使う口や下の筋肉をしっかり
動かし、食べ物をうまくまとめて飲み込む力を支えます。
お口の体操を取り入れてみませんか。



パタカラ体操



頬の体操



舌の体操



毎日の習慣として、無理のない範囲で続けてみましょう。

敬老の日

栄養科

敬老の日に皆様の健康と長寿を願い、行事食を提供しました。

患者様からは「美味しいよ」「嬉しいね、元気が出るよ」と嬉しいお言葉をいただき栄養科スタッフも嬉しい気持ちになりました。

患者様からの温かいお言葉を励みに、これからも季節や行事を感じていただけるような食事の提供を給食委託会社と協力して行っていききたいと思います。



献立：赤飯風ご飯・赤魚の塩こうじ焼き
茶碗蒸し・すまし汁・抹茶ババロア

毎日の診療を支える見えない工夫

～情報システム委員会～

近年、医療のデジタル化が進み、病院の情報を安全に守りながら活用することがこれまで以上に大切になっています。
情報システム委員会では、安心して診療を受けていただけるよう、さまざまな取り組みを続けています。

端末ごとのアクセス管理

必要な人だけが必要な情報にアクセスできるよう
端末ごと管理しています。

記録をきちんと残す工夫

診療に必要な情報が、必要な時に活かせるよう
整えています。

情報を守るための研修

職員向けの研修を行い、日々の注意点を共有しています。

お預かりした情報は、必要な範囲でのみ使用
診療情報やマイナ保険証の情報など、
患者様からお預かりした情報は、必要な範囲でのみ使用
し、不要な情報を参照することはありません。
適切な管理のもと運用しています。

これからも、円滑に診療を行えるよう努めてまいります。



マイナ保険証利用率 (%) 2025年10月～2026年5月



マイナ保険証利用が定着してきています。
2025年10月から2026年5月までの利用率は、
秋から冬にかけて大きく伸び、
春には90%台を安定して維持しています。
引き続きご協力をお願いいたします。



マイナ保険証の豆知識

過去の薬や健診結果を医師が確認できる
→より安全でスムーズな診療につながります。

医療費の明細をマイナポータルで確認できる
→家計管理にも役立ちます。

スマホでも使えるマイナ保険証
→当院は、スマホを保険証として使える
「マイナタッチ」に対応しています。
マイナンバーカードが手元にない場合でも、
スマホで資格確認ができます。





『質の高い医療と安心をお届けするために』 ～当院の職員研修の取り組み～

～研修管理委員会～



研修後には理解度テストやアンケートを行い、学びを確実に日々の業務へ活かす仕組みを整えています。
今後も職員の声やアンケート結果を分析しながら研修内容を磨き上げ、地域に必要とされる病院を目指してまいります。



地域を学ぶクロスワード

地域の歴史や名物を題材に
クロスワードを作成しました。
ぜひ挑戦してみてください。



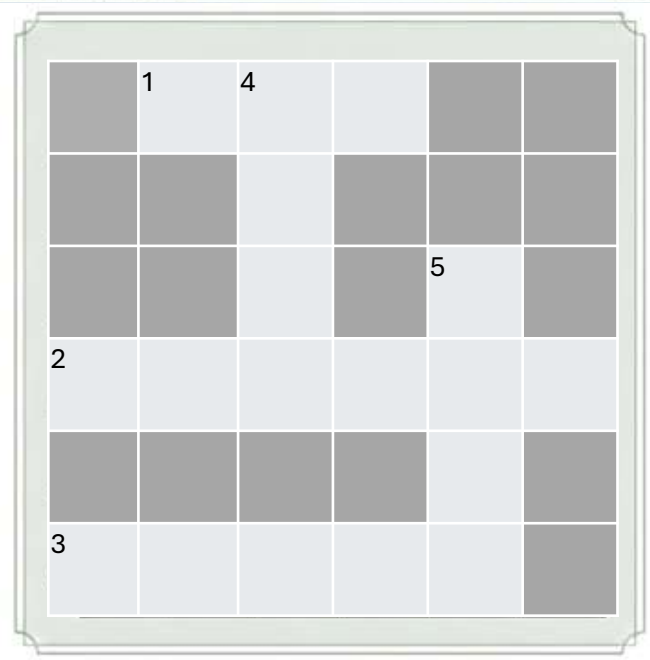
【ヨコのかぎ】

- 1 当院の名前は「豊川〇〇〇病院」です！
- 2 人が手に持って上げる、豊橋・豊川名物の花火
- 3 長篠の戦いで城のために命を張り、
走って救援を呼びに行った武士。
「鳥居〇〇〇〇〇」



【タテのかぎ】

- 4 赤松（アカマツ）と対で覚えられることも多い、
豊川市の『市の木』といえは？
- 5 背中にシャリがついている！
豊川市宣伝部長の
キツネのキャラクター





臨床検査適正化委員会は、検査に関する確認や見直しを行う委員会です。



臨床検査適正化委員会とは

豊川さくら病院臨床検査の管理・運営に関する事項を確認し、必要に応じて見直しを行うための委員会です。

外部・内部精度管理の評価や、業務手順、試薬、標準作業書などの確認を行っています。

医師・看護師・事務・臨床検査技師が連携し、年4回開催しています。



回復期病院における検査の役割

回復期病院では検査件数は多くありませんが、日々の精度管理、検査機器の日常点検、適切な研修などを継続しています。これからも、正確な検査結果を通じて、地域の皆さまの診療を支えてまいります。

検査の豆知識

検査の前に「食事を控えてください」と言われるのはなぜ？

血液検査や画像検査では、食事の影響を受ける項目があります。

血液検査では、食後に血糖や中性脂肪などの値が変わることがあります。また、腹部の画像検査では、食事のあとに腸にガスがたまり、画像が見えにくくなる場合があります。

そのため、検査の種類によっては、より正しく確認するために食事制限をお願いする場合があります。



地域を学ぶクロスワードの答え

鳥居強右衛門（すねえもん）のエピソード

長篠の戦いで、味方の城が危機に陥った際、鳥居強右衛門は命をかけて援軍を呼びに走りました。敵に捕らえられながらも「援軍は来る」と城に向かって叫び、味方の士気を大きく高めたと伝えられています。豊川の歴史を語るうえで欠かせない人物です。



豊川市の木「クロマツ」

豊川市の木は「クロマツ」。海風に強く、昔から防風林として地域を守ってきました。アカマツと対で覚えられることが多く、おなじみの“地域の象徴”です。

